

点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

48

私は高校生の頃、数学が好きだった。結果的には文系に進んだが、理系に進もうと思っていた時期もあった。

なぜ、数学が好きだったのだろうか。知っている公式や解法を使っている問題を考えている時に、ふとした瞬間に答えへの道筋が見えた時の快感といったらかなかった。おそらくアドレナリンが出ていたのだろう。

もともと、数学の中で三角関数は何に使うのだろうかと思っていた。三角関数は勉強された方なら「存じだ

「官民連携」の好事例

課題把握と対処呼应

身で技術に関する知識がなくても、「ものづくり」に興味のある女性を集めて正社員として採用し、一から教育。

女性社員が社長に「検査技能を習得するために、三角関数を勉強したいのです」と陳情。そこで社長は県

に、「三角関数」は立体的なものを把握するために必要な知識だということだが、すんと腹に落ちた。私の場合には机上の勉強しかしていなかったが、この企業にお勤めの社員の方々は、目の前にある仕事に必要な知識は何かと考えられて、それ

「官民連携」の好事例なのではないか。今後、

思っが、sin(サイン)、cos(コサイン)、tan(タンジエント)を使う学問だ。高校生から約30年持っ

ていた疑問が、群馬県に来て氷解した。

それは最先端部品の試作品を製作されている企業を訪れた時だ。この企業においても人手不足が進んでおり、特にエンジニアの不足を感じられていた。

このため、この企業では、女性の正規社員の増強を推進。文系出

立の専門学校に相談したところ、「ある程度の人数がいれば、出前授業をします」ということになったそう。

この話を聞いた時

を社長に直訴し、それに応える社長と県立の専門学校。

さらにこの企業では、以前は汎用品を大量生産していたが、先



岡山和裕（おかやま・かずひろ） 1969年7月生まれ。兵庫県出身。東京大法学部卒。92年日本銀行に入り、業務局統括課長、決済機構局業務継続企画課長、情報サービス局総務課長などを歴任。2018年4月から現職。